



# 育児休暇復帰準備セミナー報告



主に4月から職場復帰される方を対象に、2010年2月19日にはマザーネット大阪本社（大阪市淀川区）にて、2月26日には女性と仕事の未来館（東京都港区）にて、復帰準備セミナーを開催しました。参加者は2会場で、のべ35人、赤ちゃん15人。コーヒープレイクの時間に情報交換をしたり、セミナー終了後にはメールアドレスを交換したり、積極的な交流が行われていました。



東京会場にて。5～6人に分かれて情報交換

## ■参加者の事前アンケートより

〈育児中どのように過ごしましたか？〉

### ◇勉強派

- ・ あちこちで歩いたりして、ストレスをためないようにしました。資格取得にむけての勉強もしました！（銀行勤務、子ども1才1カ月、3月復帰、大阪府在住）
- ・ 6月に資格試験を受けたが、不合格。12月にも同じ試験を受けるか悩んだが、生涯最後の育児なので、ゆっくりにすることにしました（メーカー勤務、子ども3才9カ月・8カ月、4月復帰予定、大阪府在住）

### ◇育児専念派

- ・ 家事と子育てを中心に、ゆったりとした時間を過ごしました。（銀行勤務、子ども6カ月、5月復帰予定、兵庫県在住）
- ・ 育児に専念しました。近所に同年代の子どもを持つ母親が多いので、情報交換しています（銀行勤務、子ども7カ月、5月復帰予定、奈良県在住）
- ・ 上の子が保育園に行っているため、日中は基本的に下の子と二人で過ごしていました。近所のママ友と自宅を行き来したり、児童館でのイベント等に参加したりもしました。上の子の育児の時よりも、慌ただしく毎日が過ぎていくように思います。（大学勤務、子ども3才3カ月・10カ月、4月復帰予定、京都府在住）

### ◇復帰に向けて準備万端派

- ・ 子どもとのふれあいの時間はもちろん、趣味を広げる、人脈づくり、仕事に必要な資格の勉強、大学での勉強、家事能力の向上をめざし研鑽、育児・家事サービスの試し利用と家電等インフラ整備を行いました。（公務員、子ども2才6カ月、4月復帰予定、兵庫県在住）
- ・ 子育てについてのセミナーを受け、その間、娘を保育に預け、保育所に預ける練習。仕事関連の資格の勉強。ピアノや読者などの趣味。子育て支援のひろばやベビーサイン等のイベントに行き、他の子やその母親と触れ合いました。（技術開発、子ども1才7カ月、4月復帰予定、大阪府在住）

〈復帰に向けて悩んでいること〉

### ◇仕事について

- ・ 産休前は毎日残業し、平均退社時刻は19:30だったので、復帰後残業なしで仕事がこなせるか。（銀行勤務、子ども7カ月、5月復帰予定、奈良県在住）
- ・ 今の社会状況についていけるか。（メーカー勤務、子ども3才9カ月・8カ月、4月復帰予定、大阪府在住）
- ・ 産休前は時間をかけることで何とか仕事をこなしてきたので、復帰後の仕事の仕方が心配。（学校勤務、子ども1才、4月復帰予定、大阪府在住）

### ◇保育環境について

- ・ 希望の保育園は抽選なので、入れなかった場合、朝の出社時間に間に合わなくなる。会社で、雰囲気的に時差出勤等を認めてもらえるか。（銀行勤務、子ども7カ月、5月復帰予定、奈良県在住）
- ・ 職場内の保育所に預ける予定だが、デメリットが大きいのだろうか。（病院勤務、子ども1才、4月復帰予定、大阪府在住）

### ◇子育てについて

- ・ 二人の子どもをどのように働き、育てながら、軌道にのせていけるか。（メーカー勤務、子ども3才9カ月・8カ月、4月復帰予定、大阪府在住）
- ・ 実家が遠いので、子どもの急な病気への対応が心配です。（大学勤務、子ども3才3カ月・10カ月、4月復帰予定、京都府在住）
- ・ 子どもと一緒にいてあげるべきではないか。（電鉄勤務、子ども5カ月、8月復帰予定、奈良県在住）
- ・ 夫は帰宅が遅い（22:00～24:00）ので、平日は育児に協力してもらいにくいこと。（学校勤務、子ども1才、4月復帰予定、大阪府在住）
- ・ 夜中に何度も授乳をしており、体力的に仕事ができるか不安。断乳はまだするつもりはないが、した方がよいのか。（病院勤務、子ども1才、4月復帰予定、大阪府在住）

- ・ 両立はもちろんのこと、子どもとの時間が激減することが不安です。(国家公務員、子ども1才5カ月、4月復帰、東京都在住)

#### ◇家事について

- ・ 夫と家事をうまく分担できるか。(新聞社勤務、子ども5カ月、10月復帰予定、大阪府勤務)

#### ◇自分の気持ちについて

- ・ 復帰に向けて、今はあまり前向きな気持ちになれずにいますので、少しでも気持ちの整理ができればと思い、セミナーに参加しました。(大学勤務、子ども3才3カ月・10カ月、4月復帰予定、京都府在住)
- ・ 6カ月半の子を預けてまで復帰するのは、自分のわがままではないかという後ろめたさがあること。(編集者、子ども3カ月、4月復帰、東京都在住)

#### ◇夫について

- ・ 夫の会社ではほとんど妻が専業主婦で、私が働くことにマイナスのコメントをなさる上司もいます。当分、夫の会社の雰囲気は変わらないと割り切っているのですが、保育園の送り迎え、病気の時の対応は私がメインとなるでしょう。(薬剤師、子ども5カ月、5月復帰予定、神奈川県在住)

#### ■セミナーに参加して

- ・ グループワークで、離乳食のまとめ冷凍づくりなどのコツや、夫に気持ちよく分担してもらう考え方や言い回しのヒントを、参加者から教えてもらえました。非常に有意義でした！
- ・ たくさんのワーキングマザーと集まる機会は少ないので、参考になりました。子どものことを第一に考え、「やめるのはいつでもできる」というくらいの気持ちで、やれるだけやってみようと思います。
- ・ なぜ仕事をするのか、の思いが少々弱く、復帰にあたり不安に思っていました。今なりの考え方をもち、また何度か振り返ればよいとわかり、今のままでも良いのだ、と思えました。
- ・ 上田さんのお話、声を聞くと元気になります。みなさんと同じ気持ちで話せたのも、とても勇気づけられました。また同じメンバーと話したい、上田さんの声も聞きたいなあと思います。

セミナーに参加して、両立のためのアドバイスを話したり、参加者の方と交流すると、セミナー開始前に比べて、表情がやわらかくなるのを感じます。

「復帰後にセミナーをしてほしい！」という希望をたくさんいただきました。半年後ぐらいに、職場復帰フォローアップセミナーを開催したいと思います。またお会いしましょう！(上田)